

令和2年2月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川
TEL/FAX (0770) 62-0330



熊川宿ホームページ <http://kumagawa-juku.com>

鯖街道 熊川宿

創刊20周年 第40号記念号



戦国ロマンに思いを馳せて
熊川城跡へ登ろう!!

— 熊川城跡への山道整備が完了 —

中郭段から見える熊川宿



熊川宿から城山を望む(イメージ図合成)

熊川城は、近江と若狭の国境熊川に位置し、城主沼田光兼の娘壽香が細川初代幽斎を支え、細川忠興・ガラシャへと続く細川家のルーツとなり、また令和2年の大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公明智光秀のゆかりの地でもあります。

沼田氏は、観応二年將軍足利尊氏によって若狭州瓜生下司職に補任され、熊川城を築きました。以来、幕府御料所代官として、また將軍直風の武士として奉公しました。その後、丹波長秀が若狭を支配するようになると廃城になりました。

また、若狭街道に面した山腹には張出郭があります。一方、西からの侵略を守るため、新道地籍には出城を築いていたとのことです。

数十年前までは、熊川城跡や沼田氏出城跡から熊川が一望出来ましたが、現在は城郭や張出郭の原形は留めているものの、雑木や杉が大きくなり、城跡への山道も急傾斜で荒れ、往來が困難な状態になっていました。

この度、熊川宿とその周辺環境改善の一環でもっと熊川宿を楽しむため、熊川城跡を中心とした山道の復元整備を行いました。

熊川宿の歴史的価値を高めるとともに、伝建地区から近い熊川城跡を巡って河内川ダムから若狭駒ヶ岳へ、さらには沼田氏出城跡方面へのトレイルルートの開発を目指します。

(2～5ページに関連記事)

目次

熊川城跡へ登ろう!!	1
熊川城跡への山道整備	2・3
明智光秀と熊川	4・5
熊川いっつく時代村実施報告	6
活動報告・話題	7・8

熊川城の基本情報

所在地：
福井県三方上中郡若狭町熊川
標高：185m
旧国名：若狭国
築城主：沼田氏
築城年：永祿年間(1558～1570)
城主：沼田氏(御法寺に供養塔あり)
遺構：曲輪・堀切・塹堀・櫓台
区分：山城

熊川城跡への山道整備概要

白石神社から中郭段・張出郭までの急斜面箇所には地盤排水用パイプ(ネトロンパイプ)をクレオソート杭を使って固定し、滑落防止を図るとともに随所に滑り止めを設置しました。

中郭段から主郭への登り道は杭や石による足場を設置し、滑り止めによる転倒防止を行いました。

試行錯誤して試験整備を行い、積雪なども考慮しながら足場整備の工法を検討しました。また今回の工法は、土地を削るものではなく、崩れないよう足場を置くものであり、雑木などの伐採も最小限の範囲で行いました。

施工主体

若狭熊川宿まちづくり特別委員会
(一社)熊川プロジェクト

協力団体

俵川区・若狭町・石田工業・(株)西野工務店
俵川区民有志ほか

【主郭(上段)】
・雑木伐採・ベンチ設置
(10/31完了)

主郭(3段)

櫓台

塹堀

欽堀

【中郭段～主郭(下)】
・階段状に足場設置(10/21完了)

【主郭(下)～主郭(中)】
・階段状に足場設置(10/21完了)

【主郭(中)～主郭(上)】
・階段状に足場設置(10/23完了)

中郭段(7段)

5条の欽堀

城郭(白石神社)

張出郭

【白石社能舞堂～中郭段】
・地盤排水パイプ、一部階段
による足場の設置(10/17完了)

【白石神社～張出郭】
・地盤排水パイプによる足場の設置
(10/18完了)

熊川陣屋跡

社務所

本殿

拝殿

能舞堂

得法寺

沼田氏の供養塔

熊川児童館

熊川宿の町並み
(伝建保存地区)

寛成寺

若狭街道
(鯖街道)

義民館

0 50 100m

※電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

(資料協力：攻城団ホームページ(熊川城) <https://kojodan.jp/castle/2687/>)

山道整備の歩み

工期：令和元年5月～10月

5月16日(木) 改修調査

原形を留めている城郭や畷堀り、空堀りなどを参加者に説明。積雪なども考慮しながら足場整備の工法を検討しました。

5月29日(木) まちづくり委員会

事業計画で計画案が提案・審議され、委員の承認をいただきました。

6月17日(明) 試験整備(現地検討会)

白石神社から中郭段までが険しく危険なことから、その部分に試験的に足場を設置し、安全に歩くことが確認できました。

7月12日(金) 土地所有者さんの調査

山林図と比べながら地形や樹種等を見て2時間程かけて調査しました。

7月19日(金) 土地所有者さんに説明

地主さんへお願い文と工事概要図で説明させていただき、全ての土地所有者さんからご了承をいただきました。

10月2日(木) 資材搬入

倒木の処理をしながら、安全に作業ができるよう各ポイントへ搬入してもらいました。

石田工業さんによる搬入で、西野工務店で働くラオス出身のS君、K君が助っ人で応援してくれました。



若い二人が荷揚げ作業

10月10日(木) 雑木伐採の現地打合せ

城郭のうち、若狭街道への張出郭、中郭段、主郭の一部で、雑木等の低木や枝を伐採して、熊川宿を中心とした周辺の景観が見られるようにするための事前打合せが行われました。

10月16日(木) 足場施工開始

区内回覧で参加者を募り、整備工事が開始されました。主に平日の午前中、ボランティアで作業を行いました。

10月20日(日) 進捗状況

作業が順調に進み、急傾斜はかなり安全に登れるようになりましたが、地盤が固くて杭が打ち込めない場所があります。

10月31日(木) 山道の整備完了

主郭の最上段は雑木を伐採し、休憩用ベンチや自撮り用スマホ台も作りました。

登り口には音の出る杖も用意しています。熊除けにも効果があると思われまます。



石巻修行場所として調査中



西村家の愛犬「あらレク」も応援



FB仲間のNさんも参戦



チーム高齢者 頑張りました

登山される方へお願い

- ・動きやすい服装、滑りにくい履物で、また、ひとりではなく、必ず複数人で登ってください。
- ・クマ、シカ、サルが出ないとも限りません。鈴やラジオなど音の出るものをご持参ください。
- ・くれぐれも安全に留意し、自己責任でお願いします。



檜台から主郭を望む

今後の計画
見晴らしを良くするため、環境保全を考慮しながら、周辺の雑木類を最小限伐採し、その木を使って檜台に柵を、主郭に柵を、山道の危険箇所の手すりの設置を検討していきます。

また、杉の倒木を使って、イベント等で使うスウェーデントーチの試作と燃焼実験を行いました。

福井歩こう会の皆さんをご案内

団体貸切案内

令和元年11月24日(日)

約1年前に依頼を受け企画していた熊川城跡登山が叶い、整備後、初の団体様登頂となりました。この日の参加者は当初の予定を大きく越えて、県外の方を含め42名。

登山口から中郭段まで長蛇の列になり城攻めの雰囲気を感じました。張出郭や畷堀り等を案内しながら15分程度で登れました。各地の山城を巡っておられる方も多く、城郭の石を剥ぎ取られた痕跡や、垣に

されていた木々等について教えていただきました。

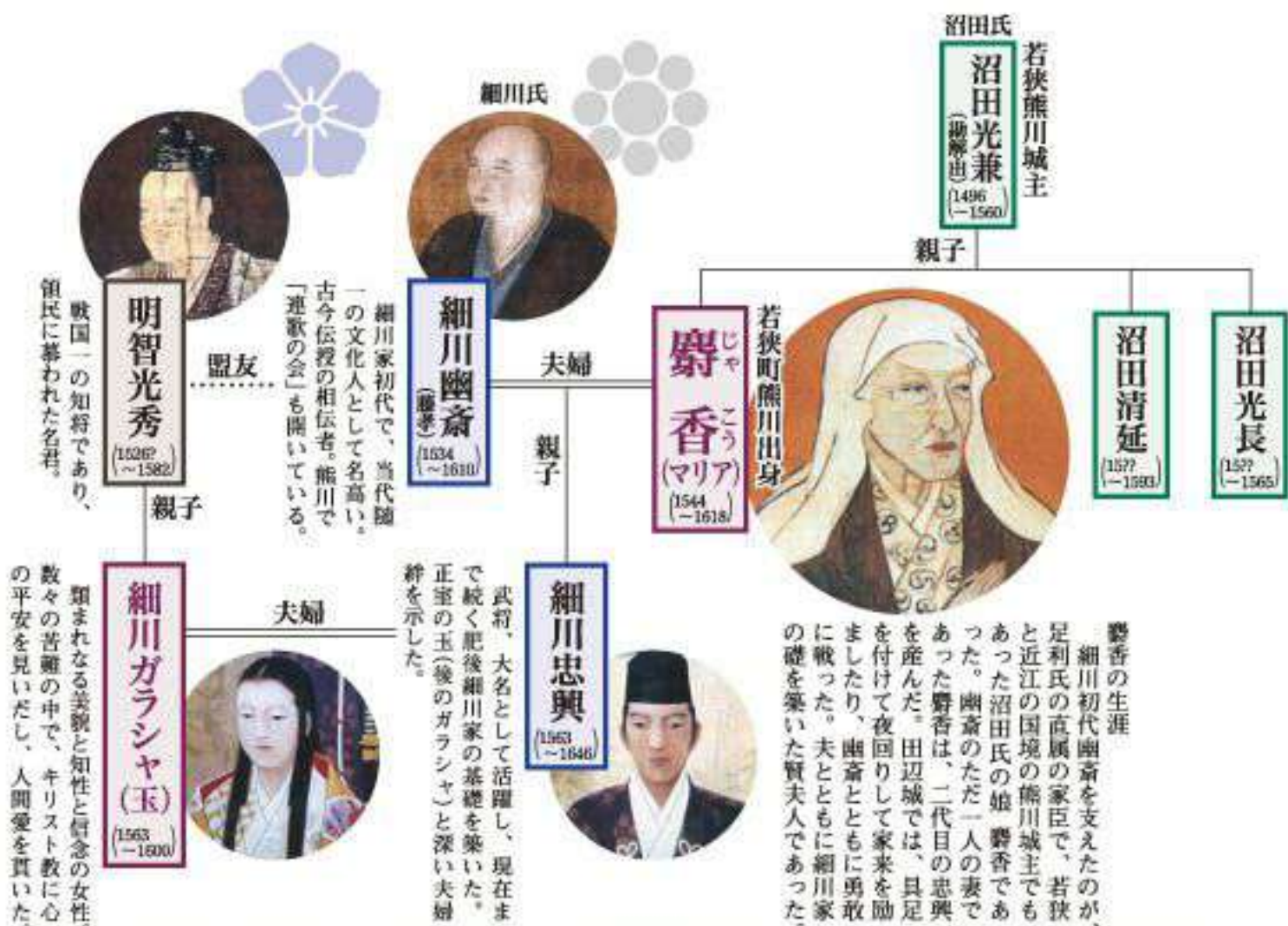


熊川城を目標していざ出陣!

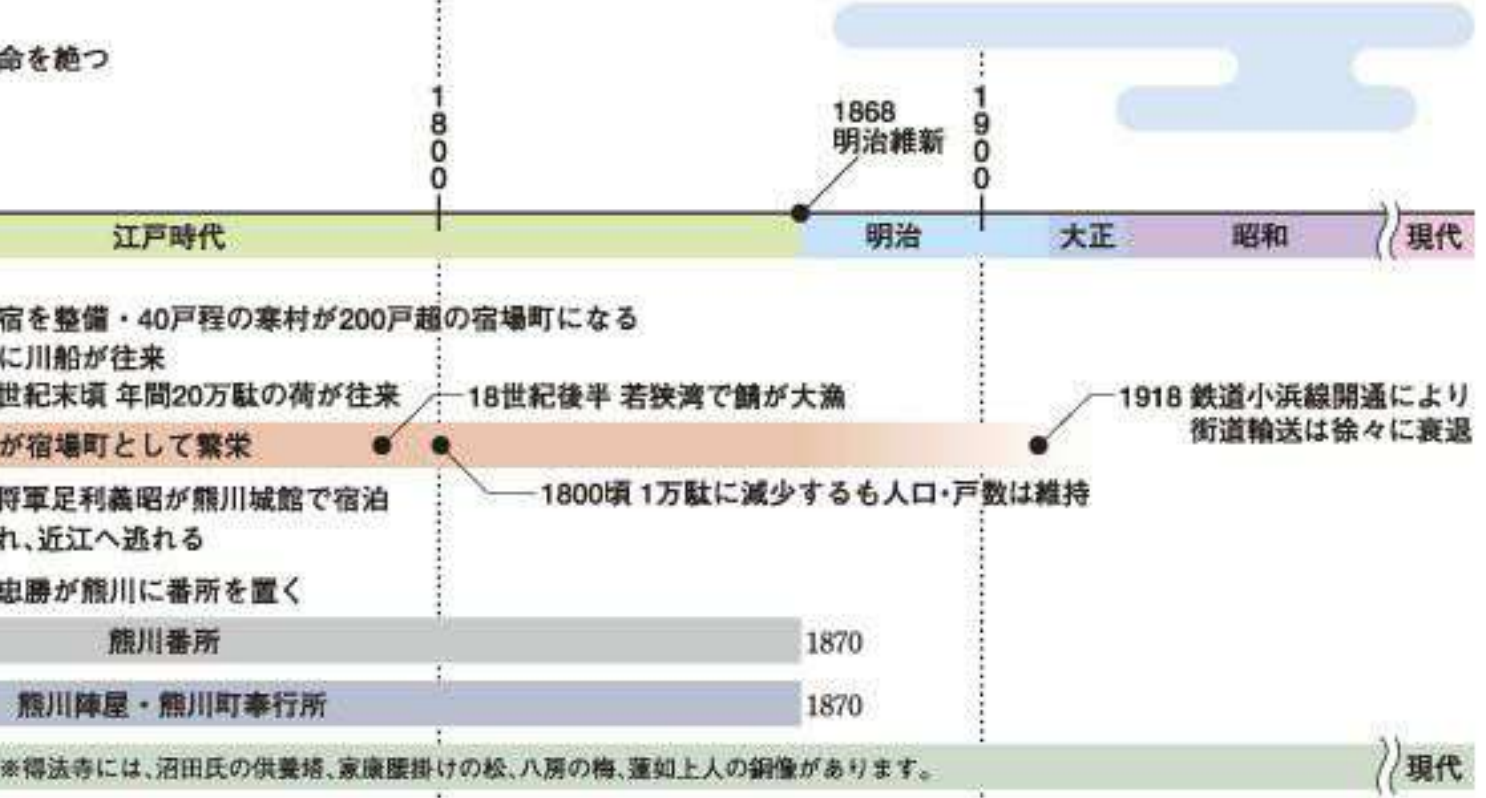


福井歩こう会の皆さんと熊川城跡主郭にて

皆さんから「しつかりした城郭が残っていて素晴らしい」と高評価をいただきました。主郭周辺を制覇して、落石や転倒・滑落もなく、全員無事安全に下山することができました。



(明智光秀・細川藤孝・細川藤孝室[沼田氏 光寿院] 画像：東京大学史料編纂所所蔵模写/小川立夫画「細川忠興と玉子」(長岡京市穂屯寺城公園))
(資料提供：大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会)



として熊川入り (参考文献：若狭歴史博物館 芝田寿嗣氏「若狭町の山と城・熊川」、若狭町教育委員会発行「若狭街道熊川宿」など)

熊川 いっぷく 時代村

と き：令和元年
10月6日

と ころ：鯖街道 熊川宿
(福井県三方上中郡若狭町熊川)

主催：熊川区・熊川いっぷく時代村実行委員会
共催：若狭町 協力：立命館大学
協賛：熊川観光組合・商工会熊川支部
後援：福井新聞社・NHK福井放送局・
FBC・福井テレビ・FM FUKUI・
チャンネルO・MMネット
司会：曾我屋家 福輔

オープニング



開村宣言、挨拶に続き、ミニ演奏会や出演団体の紹介、舞台披露が行われました。ゆるキャラや町並みも勢揃い。

当日は天候にも恵まれ、多くのお客様にお越しいただき、大盛況のうちに終えることができました。「20に因んだ味場者特典」など、第20回記念イベントを実施しました。なかでも「めでたや!お菓子まき」は、街道を埋め尽くすお客様で盛り上がりました。



ゆるキャラと山車をひこう



晴天に恵まれ、子ども祭り囃子を駆けて山車進行が行われました。ゆるキャラの登場に子どもたち大喜び。

めでたや!お菓子まき



ニジマスつかみどり

上ノ町の前川で実施。整理券が早々に完売、焼きそばは味も格別!



ブリキの金魚レース

毎年人気絶頂!スタート付近は大勢のファミリーが集まり、入賞の夢を託した自分の金魚を追いかけていました。入賞位置予想新聞も好評!



大正若大 神楽曲芸

音楽家大治朝郎による古式ゆかしい「太神楽曲芸」に癒されました。江戸船組工、ガラス工芸、パルーンアートも行列ができる人気ぶり。三昧体験は女性に人気。



ガラス工芸体験



人力車&駕籠屋

岡崎さんは今年もバファフル!射的・緑日・昔遊びは、なつかしい遊びに多くの子どもたちがライしていました。なかでも今年は「チャレンジ20」のスカットボールに人気集中でした。



射的・緑日・昔遊び



立命館大学サニクル 出前ちんどん



第2会場や街道沿いにバザーが出店し秋の味覚を演奏。エンディングでは曾我屋家福輔さんのトークも軽やかに出演者が勢揃い。スタンプラリーも混雑最高の光景がありました。



マジックの鮮やかテクに思わず拍手! 奮闘パフォーマンスも迫力いっぱい!



立命館大学サニクル 和太鼓ドン

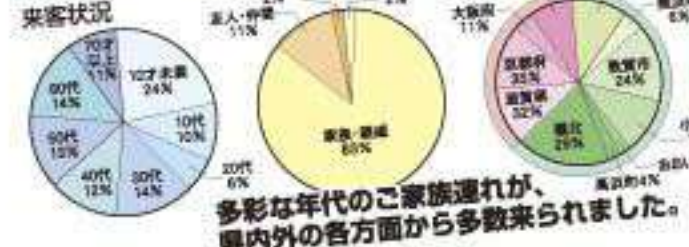
今年も立命館大学サニクルの「和太鼓」「ちんどん屋」「マジック」、立命館高校の「書道部」がパフォーマンスを見せてくれました。



和太鼓・ちんどん屋は、過密なスケジュールの中、舞台公演や町遊しを行い、笑顔いっぱいパフォーマンスで盛り上げてくれました。

来場者アンケートによる 人気イベントランキングトツス3

- 第1位：ブリキの金魚レース
- 第2位：自然や町並み
- 第3位：スタンプラリー



ポスター&写真展

第20回記念PRを兼ねて8月から開催。20年分のポスターと懐かしい写真を展示しました。期間中、町内外から多くの方にお越しいただきました。





7/28

社会奉仕・ケイトウの苗配布

(熊川区・まちづくり委員会)

草刈りや前川の土砂上げに加え、下ノ町では体験交流施設「与七」や「村田館」の清掃を行っています。

県総合グリーンセンターから戴き、6月30日にみんなで種まきをしたケイトウの苗に、藤井氏から提供の400株を加え、各世帯8株充て配付しました。



7/16

古民家・地産食材の活用研修

(熊川プロジェクト)

仕出し弁当がメインで、予約で懐石料理もいただける「あばん亭」と、おばま観光局が運営する「小浜西組町家ゲストハウス」へ研修に寄せていただきました。

発足から運営全般に関するお話をお聞きし、大変参考になりました。



7/11

和の布商品開発プロジェクト

委託：若狭町生涯学習促進地域連携協議会
主催：熊川プロジェクト
協力：熊川宿公開館管理組合

6月27日に続いて、倉橋祥子先生にご指導いただき、布を使った土産物や体験等の商品開発を目的に開催。前もって下駄の木地作りを承っていて色々な工具を駆使してカンナで仕上げました。この日は熊の人形や下駄を作りました。



8/14

街かど陶の灯り展

(街かど陶の灯り展実行委員会)

台風10号の影響で強風が吹く荒れた天候となったので、軒下に設置し、背の高いものは紐で固定し実施しました。

灯りが点る頃にはあいにくの小雨となっていました。夕闇に幻想的な光景が見られました。愛屋周辺では、阪野氏の制作による孟宗竹の灯りが並びました。



8/8

若狭町伝建地区保存審議会

(若狭町ほか)

この審議会は、教育委員会の諮問に応じ、保存地区の建物の修理・修景等について調査・審議するもので、学識経験者、関係地域の代表者、福井県・若狭町の関係行政機関職員で構成しています。

この日は委員全員で現地を確認し、旧逸見勘兵衛家で審議を行いました。



8/7

R29新因幡ラインさんと交流

(宮本会長対応)

日本風景街道に登録のR29新因幡ライン協議会役員の皆様と交流・研修しました。

昨年12月に枚方市で開催された「近畿風景街道フェスタ」で活動報告をさせていただいたことがきっかけで、お越しになりました。まち歩きに加え、まちづくりについて説明させていただきました。



8/31

一乗寺八大神社の八朔祭に参加

(熊川宿伝説芸能保存会ほか)

八朔祭のお千度と鉄扇音頭(京都市無形文化財)の奉納に参加させていただきました。

夜の8時から始まり、本殿での神事、お千度が行われ、直会をした後、境内で鉄扇音頭が奉納されます。

音頭のテンポや踊りの細かい手の振りなどを改めて本家の皆さんから習いました。



8/25

月刊「URALA」に熊川宿特集

(9月号)

10ページに亘り、達人シリーズとして紹介とコメントが掲載されました。歴史、まちづくり、おもてなし、古民家活用、まつり、ものづくり、アートの7つのジャンルで、最新動向と関係する約30名が登場しています。熊川いっつく時代村や最近のホットな話題も掲載いただきました。



8/16

納涼盆踊り

(熊川区)

台風10号接近のため、16日に順延し、結果、好天となり3年ぶりに屋外で樽を組立てて実施しました。

終盤は「てっせん踊り」や「熊川音頭」が踊られました。

反田さんが屋台で焼そばを販売。女性の会の皆さんは、子供さんと一緒に踊ったりして楽しまれたようです。



10/7

文化庁調査官現地視察・囲む会

(熊川区・まちづくり委員会)

文化庁の大石文化財調査官、県の文化財課立野調査員、町歴史文化課職員、設計者の皆さんで現地調査をしました。夜は、小浜西組町並み協議会の皆さんと、大石調査官を囲む会が開かれました。大石調査官から、最近の伝達情報や文化庁の取組みについて講演いただきました。



9/12

熊川宿と河内川ダム
チャレンジミーティング

(於・リフレステヤまげ)

熊川宿での新たな民間のビジネス展開の活性化、河内川ダム周辺の整備計画など、新しい動きの情報共有を目的に開催されました。参加者は、ビジネス事業者、地域関係者、町行政関係職員で、それぞれのビジネス展開の説明を兼ねた自己紹介を行った後、団体のプレゼンが行われました。



9/5

立命館大学(茨木)で講演

(若狭町・宮本会長対応)

熊川宿のまちづくりや周辺環境・課題などについて、約1時間の講演を行い、レポートをまとめていただきました。テーマは「若狭町の事例分析からみる地方創生・地域活性化のマネジメント」で、森下町長の若狭町の概要を皮切りに15のテーマについて講演が行われました。



10/30

松代市でまちづくり講演会

城下町松代街なみ景観賞表彰式とまちづくり講演会に寄せていただきました。

講演会では「町並み保存でまちづくり、ひとづくり」をテーマに、熊川宿で取組んでいるまちづくりと古民家のリノベーション、新たなチャレンジについて、宮本会長と(株)デキタの時間代表で分担してお話しました。



10/13

古民家活用店舗続々オープン

(株)デキタ・熊川区

昨年、菱屋で「街道シニアオフィス」をオープンさせた(株)デキタさんが準備を進めてきた「棟貸し古民家宿「八百熊川」と、東京蔵前から出店いただいた「SOLIS COFFEE」さんのオープンングセレモニーが開かれました。森下町長の祝辞に続いて、時間代表から事業概要の説明がありました。夕方からは、クラウドフアンディング支援者と関係者でオープンングパーティーが開かれました。立命館大学の宮崎先生の司会で、石田熊川区長から出店お礼の挨拶と乾杯の発声でスタートしました。コーヒータッチ体験では、豆の選別から焙煎温度、香りなどコーヒータッチの奥深さを教えていただきました。下ノ町に佇む古民家をリノベした「八百熊川・ほたる棟」の内覧会もありました。



12/27

年末夜回り警戒

(熊川区・上中消防団ほか)

感冷えのする年の瀬を迎え、年末恒例の夜回りと上中消防団の年末特別警戒出発式に多くの区民らが参加しました。式では、森下町長から消防団への訓示と熊川宿の近況報告、島津町議会議長と岡本上中消防団長から、先日熊川宿内で発生したボヤ騒ぎの概要説明と注意喚起がありました。



11/28

関電さんによる街路灯清掃

(関西電力小浜配電営業所)

「関西電力お客様感謝月間」は、地域のニーズや特性を踏まえ、清掃活動をはじめ、電気設備診断、地域行事への協力などを行う取り組みです。今回は伝建地区内に25基ある街路灯の清掃を行っていただきました。手分けして手際よく解体・内部清掃を行い、すっきりきれいに蘇りました。



11/20

杉本福井県知事と意見交換

(宮本会長ほか対応)

杉本知事の政策「チャレンジャーふくいに新しい風を吹き込む」を推進する一環として、熊川宿で新たな事業に取組む皆さんと、まちづくり委員会の宮本会長が出席しました。熊川宿を案内しながら、八百熊川、村田館、菱屋、熊川宿若狭美術館などを視察いただきました。